

県安管協会ニュース

(一社)宮城県安全運転管理者協会・宮城県安全運転管理者事業主連合会

平成31年1月

No.4

Tel022-361-0313

fax022-362-3801

e-mail

info@kenankan.or.jp

～第59回交通安全国民運動中央大会企業部会で発表！～

平成31年1月16日、東京都新宿区のホテルグランドヒル市ヶ谷において開催された第59回交通安全国民運動中央大会の分科会（企業部会）において、塩釜地区会の企業（ソニー株式会社仙台テクノロジーセンターの安全運転管理者佐々木一幸氏）が栄えある事例発表を行いました。同社の先進的で地元と密着した取り組みに対して、会場のあちらこちらから感心の声が囁かれていました。



発表要旨

交通事故防止活動と地域活動への参画 ～一人ひとりの意識を高める～

宮城県 佐々木 一幸

(ソニー株式会社仙台テクノロジーセンター総務担当マネージャー)

当社は、1954年、宮城県多賀城市にソニーで初めて地方製造事業所として設立された磁気テープ、光ディスクや医療用プリントメディア製品の開発・設計・製造・販売・サービスの全てを担う、社員約1,000名の事業所です。社員の8割がマイカー通勤者であり、「社員一人ひとりが常に交通事故防止を意識する機運を醸成する」こと、地域のリーダー企業として、社外の交通安全活動にも積極的に参画し「交通事故のない安全で快適な地域社会の実現に寄与していく」ことをスローガンに掲げ、日々の交通事故防止活動に努めています。

1 安全運転教育と情報配信

(1) 認定運転者登録制度の運用

マイカー通勤者及び業務上車両を運転する社員は、毎年更新される「安全運転講習(e-ラーニング)」の受講を必須とし、認定運転者として登録を義務化しています。

(2) 交通安全教育ビデオ活用による職場内教育の充実

安全運転管理者協会所有のビデオの「職場レンタル運用」による教育の充実を図っています。

(3) 全社員を対象とした交通安全啓発情報の配信

宮城県の「マナーアップみやぎ運動」や社内の交通事故発生状況等を考慮したタイムリーな情報をオリジナル内容にて全社員に一斉メール配信を行い注意喚起しています。

2 交通事故防止に関する社内外への注意喚起

(1) 安全運転管理者協会旗、交通安全のぼり旗を掲出しています。

(2) 通用門(正門、西門)での交通安全の呼びかけとチラシ配布を行っています。

(3) 社内共有エリアへのオリジナルポスター、飲酒運転根絶グッズを掲示しています。

3 交通事故分析による類似事故の防止

社員が当事者となった交通事故については、必ず当事者と面談を行い、事故原因について事故現場周辺の環境面、生理・心理状態面などについて確認し合い、その分析結果をもとに事故現場の最終確認を行い、事故分析資料を安全衛生委員会に提供、類似交通事故の防止を図っています。

4 「飲酒運転根絶キャンペーン」への積極参加

平成17年に飲酒運転のRV車によって、高校生3名の命が奪われた悲惨な事故を経験している宮城県は、毎年「飲酒運転根絶の街頭キャンペーン」を実施しています。

その活動をより印象付け、ドライバーや地域の方々、一人ひとりに飲酒運転の根絶を意識してもらうため、現在、日本フットボールリーグ(JFL)に所属している当社の「ソニー仙台FC」メンバーも積極的に参加し継続的に活動しています。